

一条小学校
「学力向上実行プラン」

「一人ひとりを生かした人間尊重の教育」
～自他の命を大切に、共にたくましく社会を生き抜く児童の育成～

学力向上推進員	委員 校長 吉本 俊二 教務主任 佐藤 規孝 教諭 小島 愛	教頭 服部 清俊 研修主任 植木 弘美 特別支援コーディネーター 市岡 美知枝 市学力向上推進講師 今津 かほり
---------	--------------------------------------	---

吉本 俊二 印

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
<p>よさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きや計算の基礎・基本については、単元終了後直後には、ある程度の定着が見られる。 全体的に理解は早く、学習中は学習内容が比較的良好に身についている。 粘り強く最後まで取り組む。 	<p>①基礎的・基本的な知識・技能が確実に身についている。</p> <p>②語彙力を高め、正確に文章を読んだり書いたりすることができる。</p> <p>③注意深く聞き、内容を理解することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学期末の漢字・計算テストで正答率を80%以上にする。 学力テストで平均正答率が全国平均以上にする。 		<ul style="list-style-type: none"> 音読(詩の暗唱・アンソロジー)や漢字・計算の反復学習に毎日取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・計算テストで正答率を90%以上を達成した。 学力テストで平均正答率が全国平均以上の学年もあれば、そうでない学年もあった。
	<p>具体的方策(教員の取組)</p> <p>①個に応じたT・T、習熟度別指導体制の充実。</p> <p>②ICTを活用した「わかる授業」の推進とイメージ力の強化。</p> <p>③音読・漢字・計算などの繰り返し指導の充実。</p> <p>④国語辞典の利用を習慣づける。</p> <p>⑤小テストを定期的に実施する。</p> <p>⑥詩の暗唱やアンソロジーに取り組み、伝統文化に触れ、語彙を増やす。</p>	<p>取組指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 全員がICT活用授業を毎日実施し、それを積極的に公開するミニ研修を行う。 音読や漢字・計算の反復学習を毎日実施。 		<p>評価</p> <p>次年度における改善事項</p>	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞く態度が充分でない児童がいる。 語彙力や表現力(書くこと)に課題のある児童が多い。 集中力が続かない。 	<p>①個に応じたT・T、習熟度別指導体制の充実。</p> <p>②ICTを活用した「わかる授業」の推進とイメージ力の強化。</p> <p>③音読・漢字・計算などの繰り返し指導の充実。</p> <p>④国語辞典の利用を習慣づける。</p> <p>⑤小テストを定期的に実施する。</p> <p>⑥詩の暗唱やアンソロジーに取り組み、伝統文化に触れ、語彙を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全員がICT活用授業を毎日実施し、それを積極的に公開するミニ研修を行う。 音読や漢字・計算の反復学習を毎日実施。 		<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞くことが充分でない児童がいる。 初見の長文読解に対する抵抗がある児童がいる。 学年ごと・教科ごとに大体的な様式を決め、さらにきめ細かいノート指導を行う。 	

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
<p>よさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に準備したワークシート等には自信を持って発表できる。 ペア・グループ学習などで、自分の思いや考えを発表する児童が見られる。 授業の中で、子ども同士が関わり合う学習活動が増えてきた。 	<p>①自分の思いや考えを整理して伝え合うことができる。</p> <p>②進んで本を読み、想像力を高めたり、知識を増やそうとする。</p>	<p>「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」(児童質問紙)の割合を70%以上にする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 言語活動を通して、主体的・対話的で深い学びを目指した。 ペアやグループ学習の機会を多く設け、全体の場では発表しにくい児童も発表できるように工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちが主体的・対話的に学ぶことができていた。 単純なことを含めると発表回数は増えてきているが、説明することが苦手な児童は多い。
	<p>具体的方策(教員の取組)</p> <p>①1分間スピーチなど表現する機会を設ける。</p> <p>②協働学習を通して自分の考えを筋道立てて書いたり話したりする機会を増やす。</p> <p>③読み聞かせや読書の時間を確保する。</p>	<p>取組指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードやタブレットを用いて、「書く」「話す」力の向上を目指した授業を日常化する。 読書の時間を一週間に30分、設ける。 	<p>友達の考えや発表を、自分の考えを言い換えられるようにする。</p>	<p>評価</p> <p>次年度における改善事項</p>	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや思いを筋道を立ててその場で説明したり、その時に文章に書いたりすることには課題がある。 読書の時間が少ない。 「書く」「話す」に苦手意識を持っている。 	<p>①1分間スピーチなど表現する機会を設ける。</p> <p>②協働学習を通して自分の考えを筋道立てて書いたり話したりする機会を増やす。</p> <p>③読み聞かせや読書の時間を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードやタブレットを用いて、「書く」「話す」力の向上を目指した授業を日常化する。 読書の時間を一週間に30分、設ける。 		<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業形態や方法をさらに工夫して、友達の考えや発表を、自分の言葉で言い換えられるようにしたり、自分の考えを自分の言葉で話したりすることができるようにする。 	

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
<p>よさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題を提出することや朝のモジュール学習は定着してきている。 与えられた課題にまじめに取り組む児童が多い。 	<p>課題や自主学習に積極的に取り組み、学ぶ楽しさや喜びを感じ取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた家庭学習時間(学年×10分)以上取り組む児童を80%以上にする。 		<ul style="list-style-type: none"> 補充学習に日々取り組んだ。 家庭学習の状況は毎日調べて、家庭学習ができていない児童にはできるように指導を続けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣が身につくにつれて、宿題の提出率は、どの学年も80%以上である。
	<p>具体的方策(教員の取組)</p> <p>①取り入れた体験活動で得た興味関心を学習意欲につなげる。</p> <p>②「家庭学習のすすめ」や学年通信を活用した家庭への働きかけと、放課後学習(週2回)、補充学習の充実。</p> <p>③「いきいきカード」を通しての家庭への働きかけと連携の強化。</p>	<p>取組指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 1時間の授業の中で、児童の意欲的な活動を賞賛する。 通信等による家庭への働きかけを強化。放課後学習において家庭学習の方法について具体的に指導する。 朝会で「いきいきカード」の内容について啓発する活動を実施(学期1回) 		<p>評価</p> <p>次年度における改善事項</p>	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習に根気強く取り組んだり、疑問に思ったことを追求しようとする意欲が少ない。 家庭学習がきちんとできていない児童がいる。 	<p>①取り入れた体験活動で得た興味関心を学習意欲につなげる。</p> <p>②「家庭学習のすすめ」や学年通信を活用した家庭への働きかけと、放課後学習(週2回)、補充学習の充実。</p> <p>③「いきいきカード」を通しての家庭への働きかけと連携の強化。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の授業の中で、児童の意欲的な活動を賞賛する。 通信等による家庭への働きかけを強化。放課後学習において家庭学習の方法について具体的に指導する。 朝会で「いきいきカード」の内容について啓発する活動を実施(学期1回) 		<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習がきちんとできていない児童がいる。 学年だよりや懇談会などで家庭と連携し、家庭学習の定着をはかる取り組みを強化していく。 質の良い自主学習ができる児童を増やす。 	

平成31年度 学力向上ロードマップ

